

「ペドロジスト」誌 投稿規程 (2017年2月25日改訂)

1. 「ペドロジスト」誌に掲載される原稿

内容がペドロジストの記事として適切であり、体裁が別に定めた「執筆規定」に合致するものと編集委員会が認めたもの。問題提起になるような素材、新しいアイデア、批判、論議などを特に歓迎。

- 1) 言語は和文または英文とする。ただし学名、人名、地名、術語、引用文献など必要なものは、この限りでない。
- 2) 原稿の種別は以下の通りとする。

- * 論文：著者自身によるオリジナルで未発表の研究成果をまとめたもの。内外のペドン（土壌個体）の土壌断面形態や土壌理化学性、鉱物組成などのデータ・情報をまとめ、本学会の「日本の統一的土壌分類体系」の発展に寄与しうるもの。
- * 短報：新しい観察・実験データや調査・分析のテクニックなど。
- * 資料：土壌調査、分類、地理、肥沃度などに関連した研究の紹介および、学会・討論会の報告。
- * 総説：ある分野に関する研究結果を総覧し、総合的にまとめ、研究史、研究の現状、将来への展望などにふれたもの。
- * 技術レポート：ペドロロジー的手法によって開発された技術、各地域の土壌に関する調査事例などをまとめたもの。
- * 会員の声：自由投稿の欄。ペドロロジーやその周辺分野についての随想や意見。また、論文に対する批評・討論など。
- * プロファイル：野外巡検・調査の感想。
- * 書評：新刊書、論文の批評。
- * 講座：ある分野の研究の現状・成果や調査法・分析法などを、特に他分野の会員に紹介・普及する目的で平易に書かれたもの。
- * 雑録：内外の雑誌論文の抄録、学会の動向などについての紹介、人事消息。

2. 投稿資格

投稿者の少なくとも一人は本会会員であること。ただし編集委員会による依頼原稿の場合はこの限りでない。

3. 投稿手続

投稿者は原稿、表・図・写真のキャプション、表、図、写真をこの順番に1つのPDFファイルにまとめ、送り状とともに電子メールの添付ファイルとして編集委員会へ送信する。ファイル容量が大きく送信できない場合はCD等の郵送も認める。送り状は学会ホームページよりダウンロードし、原稿の種別にかかわらず、所定の事項を余すことなく記入すること。また、編集委員会のE-mailアドレス、住所、名称および電話番号は会誌の裏表紙を参照のこと。

4. 受け付け、および受け付け後の原稿の処理

- 1) 編集委員会が原稿を受取った日（メール受信日）を受稿日とし、掲載が決定した日を受理日とする。
- 2) 掲載の可否については、原稿の内容、表現、用語、用字などに問題がないと編集委員会が判断したものについて、専門家の査読を経て編集委員会が決める。
- 3) 掲載決定後、編集委員会の指示に従い、原稿などのオリジナル電子ファイル（ワードやパワーポイントファイルなど）を送付すること。

5. 校正

初校のみ著者校正とする。校正は印刷上の誤りの訂正にとどめ、文章、内容の変更は認めない。

6. 投稿料

投稿料については別に定める投稿料を申し受ける。

7. 別刷およびPDFファイル

- 1) 別刷代は著者負担とする。
- 2) 別刷必要部数を明記する。

3) PDF ファイルを無償で提供する。

8. 超過ページ代及びカラーページ代

超過ページ代及びカラーページ代は、別に定める料金を著者が負担する。

9. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、日本ペドロロジー学会が所有する。刊行後1年を経過した論文等については、科学技術振興機構 (JST) が提供する J-Stage において公開する。また、刊行後1年を経過した論文等は機関リポジトリにおける公開を認める。なお、著者が別刷および PDF ファイルを特定の個人に配布することを認める。

「ペドロジスト」誌 執筆規定 (2013年8月24日改訂)

1. 字 数

1) 和文原稿の場合：ワードプロセッサを使用し、A4、1行24文字、22行横書きとする。原稿4枚が、刷上がり1ページとなる。

2) 英文原稿の場合：A4、ダブルスペースで、1行72文字、25行とする。

2. 表題, 著者名, キーワード, ランニングタイトル

1) 表題は内容を簡潔に表すものとし、できるだけ○○の研究あるいは、○○に関する研究という表題は避ける。

2) 表題、著者名の順に記し、著者名の右肩に * 1, * 2…の記号をつけ、脚注に Corresponding author の氏名、所属機関、所在地、e-mail アドレスを書く。論文の場合には著者名の次にキーワード (5個まで) を入れる。

3) 和文原稿の英文の表題、著者名は英文要旨 (Summary) の上に付ける。

4) 表題の左上に論文、資料、短報などの種別を書き入れる。

5) ランニングタイトルは送り状の所定欄に書き入れる。

3. 本文, 英文要旨

1) 本文は 1., 2., 3. … (章), 1), 2), 3) … (節) のように分けて見出しをつけ、必要に応じて小見出しをつける。

2) 原稿の枚数は図表、英文要旨を含めて以下の通りとする。

* 論文、シンポジウム特集：刷り上がり8ページ以内 (和文原稿：32枚、英文原稿19枚)

* 資料、技術レポート：刷り上がり6ページ以内 (和文原稿：24枚、英文原稿：14.5枚)

* 短報：刷り上がり3ページ以内 (和文原稿：12枚、英文原稿：7枚)

* 総説、講座：刷り上がり8ページ以内 (和文原稿：32枚、英文原稿：19枚)

* 会員の声、書評：刷り上がり1ページ以内 (和文原稿：4枚)

* プロファイル、雑録：刷り上がり2ページ以内 (和文原稿：8枚)

3) 句読点、括弧、ハイフンは全画とする。数字、ローマ字は半角とする。

4) 略字、略号を使うときは、はじめにそれが出る箇所ですべて正式の名称とともに記す。

例：赤外線ガス分析器 (IRGA)

5) 数量の単位は原則として SI を用いる。数値と単位の間には半角スペースを入れる。

6) 論文・短報には、和文の場合には本文の前に和文要旨、引用文献の後に英文要旨を、英文の場合には本文の前に英文要旨をつける。英文要旨の語数は200語程度、和文要旨は500文字程度とする。

7) ワードプロセッサの「行番号」機能などを使い、本文の最初からの通し行番号を5行毎に左余白部に表示する。また、用紙の下端中央にページ数を明記する。

4. 図, 表

1) 図表にはそれぞれ図1、表1または Fig. 1, Table 1 のように番号をつける。

2) 論文の図表中のタイトル、説明文等は英文であることが望ましい。

3) 図はそのまま印刷するので、写真製版に適しない図は書き直しを要求する。

4) 表、図、写真などは必要最小限度とし、同一事項を表と図に重複して示すことはできるだけ避ける。

5) 表、図、写真はそれぞれ1ページに1つずつ貼り付け、それぞれのページにタイトルや説明文をつける。本

文中の欄外にテキストボックスやコメント機能を用いて挿入位置を指定する。

- 6) 空欄の多い表は避け、注を使うなどして紙面の節約を図る。
- 7) 図は原則として2倍長ぐらいに大きく書く。ただし、紙面の都合上必ずしも指定の大きさにならないことがある。
- 8) 地図には定尺をつけ、何万分の一など縮尺を指定しない。顕微鏡写真などには定尺をつけ、何倍などの拡大率を指定しない。

5. 引用文献

- 1) 文献は本文の後にまとめて、筆頭著者名のABC順に書く。
- 2) 文献の引用方法は引用箇所括弧を挿入し、著者名、コンマ、年号の順に書くこととする。ただし、引用文献の著者名が本文中に使われている場合は年号のみとする。
- 3) 書き方の様式は次の例による。表題は原則として記載し、雑誌及びモノグラフでは論文の起ページと結ページ、単行本では引用ページを示す。

例：永塚鎮男 1978. 天然林下において花崗岩から生成した黄褐色森林土の成因的特徴（第一報）. — 一般理化学性・遊離酸化物及び腐植の形態—, 土肥誌, 49: 412-417.

Prasad, R., Rajal, G. B. and Lokhdive, B. A. 1971. Nitrification retarders and slow-release nitrogen fertilizers. *Adv. Agron.*, 23: 337-383.

松井 健 1988. 土壌地理学序説, 307p. 築地書館, 東京.

Russell, E.J. and Russell, E.W. 1961. *Soil Conditions and Plant Growth*, 9th ed., p. 125, Longmans, Green & Co., London.

Wada, K. 1977. Allophane and Imogolite. In J.B. Dixon and S.B. Weed Eds. "Minerals in Soil Environment", pp. 603-638, Soil Sci. Soc. Am., Madison.

和田光史 1984. 土壌の化学, 久馬一剛他著“新土壌学”, pp. 71-96, 朝倉書店, 東京.

国土交通省国土政策局国土情報課. 50万分の1土地分類基本調査. <http://tochi.mlit.go.jp/kihon-info/tochi-bunrui> (アクセス日 2013年10月1日)

「ペドロジスト」への投稿に関わる各種料金 (2013.3.2 改定)

投稿料 1ページあたり2,000円 (ただし、会員の声、書評は無料)

超過ページ代 1ページ超過につき9,000円

カラー印刷代 実費を申し受ける (1ページあたり18,000円程度)。

別刷り代

100部まで 表紙1,500円 + 本文1ページあたり1,000円

200部まで 表紙1,500円 + 本文1ページあたり1,400円

300部まで 表紙1,500円 + 本文1ページあたり1,800円

カラー印刷の場合は、さらに実費を申し受ける

ただし、上記ページ数は、いずれも刷り上がりページ数である。カラー印刷代および別刷り代については、印刷時に多少の変動があるが、目安として掲げた。実際の費用については、下記問合せ先に連絡のこと。

なお、原稿の種類ごとのページ制限については、学会ホームページ掲載の執筆規定を参照のこと。また、シンポジウム特集や野外巡検参加記などの依頼原稿は、投稿料を請求しないが、カラー印刷代、別刷り代は申し受ける。ただし、シンポジウム特集の依頼原稿の場合、別刷30部は無料で進呈する。

問い合わせ先：佐藤印刷株式会社つくば営業所 Tel 029-861-1081 Fax 029-855-7490